

【第五部】

大海人皇子 おおしあまのみこ 大和の大王家の皇子 631～

*

額田郎女 ぬかだのいらつめ 大海人皇子の妃。幼名は垂那（あだ） 632～

*

十市皇女 とおちのひめみこ 大海人皇子と額田郎女の子 647～

讃良 ささら 葛城皇子と美濃都子の娘 645～

木幡（倭媛皇女） こはた（やまとひめのひめみこ） 古人皇子の遺児 645～

*

太田皇女 おおたのひめみこ 大海人皇子の妃。かつての小足皇女（おたらしのひめみこ）

大津皇子 おおつのみこ 大海人皇子と太田皇女との子 663～

高市皇子 たけちのみこ 大海人皇子と宗形君との子 654～

忍壁皇子 おさかべのみこ 大海人皇子と宍戸臣との子 648～

葛野皇子 かどののみこ 十市皇女の子

*

天智天皇（豊璋王子） ほうしょうおうじ（てんじてんのう） 百済の王子。日本（ひのものと）の天皇（すめらみこと）になる

大友皇子 おおとものみこ 天智天皇の子

高坂王 たかさかのきみ 百済の王族

郭務宗 かくむそう 唐の使節

*

中臣鎌子 なかのおみのかまこ 近江京の大官

中臣金 なかのおみのかね 中臣鎌子の従弟

耳麻呂 みみまろ 中臣金の伴部

蘇我赤兄 そがのあかえ 近江京の大官

蘇我果安 そがのはたやす 蘇我の一族。大友皇子の側近

蘇我安麻呂 そがのやすまろ 蘇我の一族。大海人皇子に味方する

巨勢比等 こせのひと 近江京の大官

紀大人 きのうし 近江京の大官

*

阿倍比羅夫 あべのひらふ 越（こし）の豪族。大和の水軍の大將軍

大伴吹負 おおとものふけい 飛鳥の小豪族

柿本人麻呂 かきのもとのひとまろ 額田郎女の配下の歌人

*

村国男依 むらくにのおより 大海人皇子の舎人

置始比等 おきそめのひと 大海人皇子の舎人

置始宇佐伎 おきそめのうさぎ 大海人皇子の舎人。置始比等の子

海部石床 あまべのいわとこ 大海人皇子の舎人

朴本大国 えのもとのおおくに 大海人皇子の舎人

*

繭環 まゆわ 土蜘蛛

鮎芽 あゆめ 土蜘蛛

葉耶 はや 土蜘蛛

結奈 ゆいな 土蜘蛛

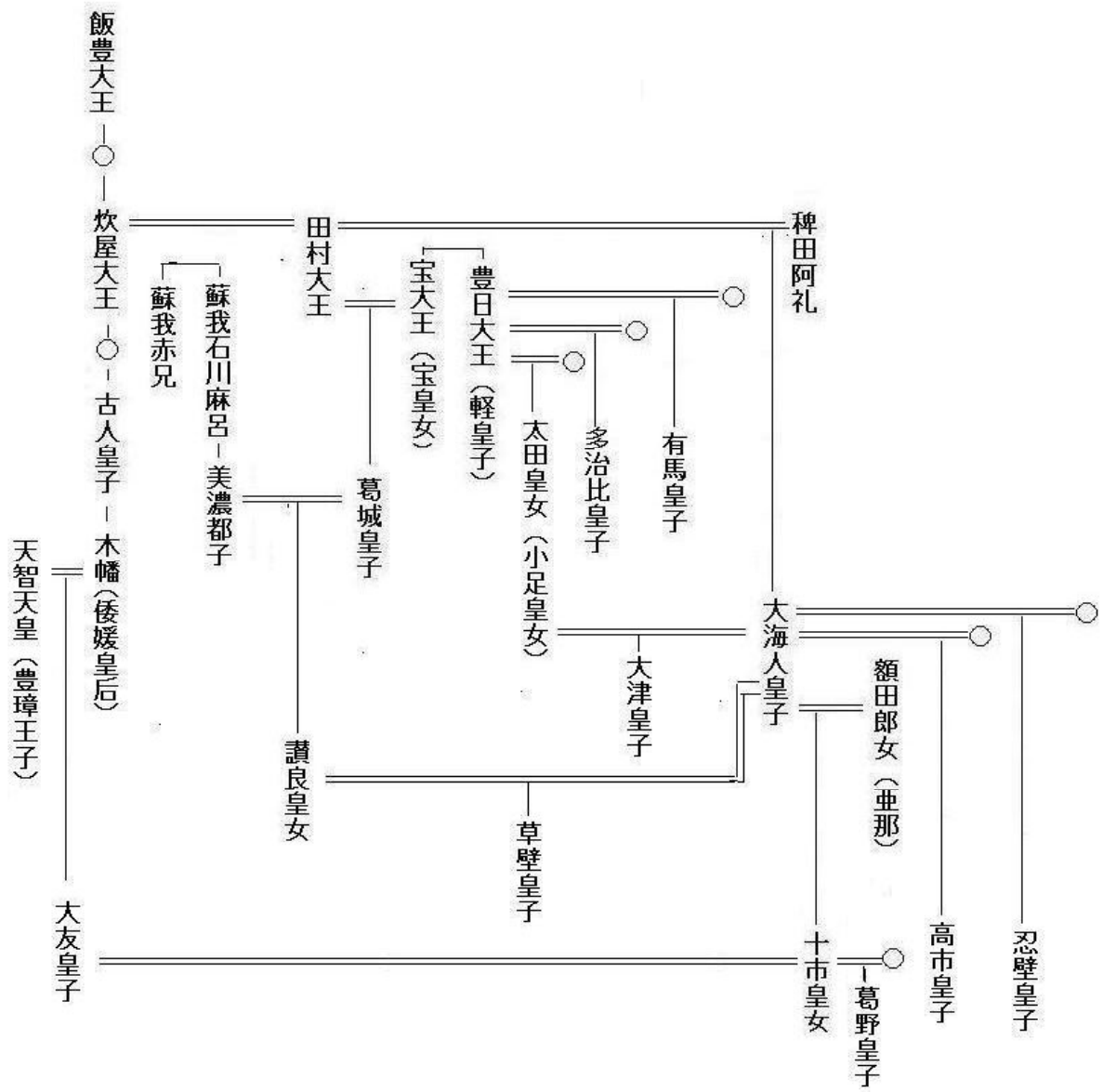
瀬莉 せり 土蜘蛛

*

安見娘 やすみこ 土蜘蛛。中臣鎌子の妻 626～

鏡郎女 かがみのいらつめ 土蜘蛛の長 623～

系図



関連地図

